



日光市国際交流協会会報



交流会で握手を交わすクエイカー市長と大橋会長



特集： ラピッド市との中高生相互交流事業
ラピッド市公式訪問団受入事業

ラピッド市中高生受入事業

日光市の海外姉妹都市であるアメリカ合衆国サウスダコタ州ラピッド市とは毎年夏に、中高生の相互交流を行っています。今年は、7月16日（水）から24日（木）までの9日間、ラピッド市の中高生7名、付添者2名の計9名が日光市を訪れました。

滞在期間中は、日光市長や日光市議会議長を表敬訪問したほか、日光東照宮や足尾銅山など市内の主な観光スポットを見学。また昨年度に引き続き、茨城県大洗町での水族館見学や海水浴体験を楽しみました。日光中学校の訪問では、中学校の生徒たちと着物の着付け体験をしたり、給食を一緒に食べたりしたほか、歌やゲームを通じて交流を図りました。

協会主催の交流会では、今回ラピッド市へ行く日光市の中高生とともに多くの協会会員の皆さんが参加し、食事をしながら歓談やゲームなどをして楽しいひとときを過ごしました。



アクアワールド大洗でイルカとアシカのショーを楽しみました



華厳ノ滝を見学し、しばし暑さを忘れる



とちぎテレビの取材を受けました



交流会で、いもむしじゃんけんゲーム。誰が勝つかな？



そばと親子丼、天井に舌鼓。上手に箸を使えています



ガタゴトと電車で揺られて日光駅まで。ラピッド市では旅客列車は走っていません



日光江戸村にて。平衡感覚が失われてしまう摩訶不思議な建物!?



日光中学校の生徒と一緒に浴衣の着付け体験。上手に着られたかな？

ラピッド市中高生派遣事業

今年は、市内の中高生10名が7月24日（木）から8月2日（土）までの10日間、ラピッド市を訪問しました。

滞在中は、ラピッド市内のさまざまな場所を訪問。まず、サム ケイカー市長を表敬訪問し、市民名誉証をいただいた後、市長室を見学しました。そのほか、アメリカ史の中で最も功績を残したとされる4人の大統領が岩盤に彫られたマウントラッシュモアやクレージーホース、荒涼とした岩山がどこま

でも続くバッドランド国立公園を見学しました。カスター州立公園ではバッファローに遭遇し、日本では見ることができない野生動物を間近にし、生徒たちは興奮気味にその姿をカメラに収めていました。

ラピッド市 日光市姉妹都市協会主催のお別れ会では、最後のスピーチで、滞在中温かく接してくれたホストファミリーや関係者の皆さんに感謝の気持ちを伝えました。感極まり、涙が止まらずスピーチを続けられない生徒もいましたが、これを機に、「将来留学したい」、「海外で働きたい」などの新たな目標が聞かれました。

今回は、サウスダコタ州に隣接するミネソタ州ミネアポリス市とセントポール市にも立ち寄りました。アメリカ最大級のショッピングモール「モール オブ アメリカ」ではその規模の大きさに驚き、故ケネディ大統領が訪れたセントポール大聖堂では荘厳な建物を彩るステンドグラスの美しさに魅了されていました。

生徒たちは たくさんの思い出を心に刻み、8月14日（月）に日本に帰国しました。



クレージーホース記念碑では、ネイティブアメリカンの文化に触れました



ラピッド市を象徴するマウントラッシュモア



サム・クエイカー市長と。この後市長の椅子に座らせてもらいました



初めて見る厳かで美しい大聖堂に圧倒されました



地元テレビ局のインタビューにも余裕の笑顔



出発の朝、再会を約束しました

ラピッド市中高生派遣事業に参加して

鹿沼高等学校二年 山口 冬響

帰国してだいぶ経ちましたが、今でも鮮明にアメリカでの日々を思い出すことができます。日本とは全く違うラピッド市の景観に、私はとても感銘を受けました。邪魔するものが何もない空は、大きく、広く感じました。ラピッド市の人々は、そんな空が反映されたような心が広く優しい方ばかりで、英語を学ぶほかに、アメリカ人の優しさに触れることができました。

アメリカ到着後、思ったよりも英語が通じないことを痛感させられました。聞き取れない、学校ではできるはずの文の組み立てができず、想像とは違う現実が待っていました。学校の勉強だけでは、流暢に英語を話せるようになれないと感じたので、日本でも外国の方と話す機会を多く作ろうと思いました。私は、ホストファミリーへ感謝の気持ちを伝えることができなかったことを後悔しています。ホストファミリーには本当に感謝していて、それを上手く伝えられないことがひどくもどかしく、とても悔しかったです。ですから将来、英語を流暢に話せるようになり、またホストファミリーに会いに行きます。

様々な場所を見学したことがとても印象深く心に残っています。アメリカの文化や歴史を知ることができる場所など、どこへ行っても私にとって良い体験になりました。特に、クレージーホースでネイティブアメリカンの文化に触れたことは一生忘れられません。これらの体験は、将来必ず活かされます。アメリカの文化をもっと知りたいという意欲にもつながりました。

今回の海外派遣を通して、人とコミュニケーションを図ることの大切さ、未知の世界を知ることの驚きや喜びを学ぶことができました。派遣に応募しようか迷っていましたが今、自分がいる場所から新たな場所へと一歩踏み出すことで、新しい世界に出会うことができました。私が今回の体験を将来に活かすことで、私を支えてくれた方達に恩返しをしたいです。

ラピッド市公式訪問団受入事業

10月12日（日）から18日（土）の日程で、サム ケイカー市長を含む5名の公式訪問団が日光市を訪れました。ラピッド市長が日光市を訪れるのは、旧今市市と海外姉妹都市の盟約を締結した平成6年以来、20年ぶりとなります（締結当時のラピッド市長はエドワード マクラフリン氏）。

滞在中、5名はホームステイをしながら、市内のさまざまな場所を訪問。日光市長や日光市議会議長への表敬訪問のほか、日光東照宮の秋季大祭で行われた流鏝馬神事や百者揃千人武者行列、華厳ノ滝 足尾銅山など主な観光スポットを見学しました。また、提灯の制作や着物の着付け体験、保育園児との交流など、盛りだくさんの日程の中で、日本の文化や習慣に触れる貴重な体験をしました。10月14日（火）に開催した協会主催の交流会では70名以上の方が参加し、身振り手振りを交えながらコミュニケーションを図り、交流を深めました。



芹沼保育園で元気な子ども達とゲーム。
自然と笑みがこぼれます



交流会で日本とアメリカの素晴らしい歌と演奏を
披露されたお二人と



提灯の制作をしました。初めてとは思えない見事な筆さばき！



百者揃千人武者行列では、古式ゆかしい衣装に目を奪われました



おなじみの三猿と同じポーズをとる
ケイカー市長とご両親



公式訪問団で人気の酒蔵見学。試飲も大好評でした



日光江戸村で忍者を
発見!



好みの着物で着付け体験。
華やかな姿は道行く人の
注目を集めました



姉妹都市20周年記念文書とともに
サインし、握手を交わす斎藤市長と
クエイカー市長

ホストファミリー体験

ホストファミリーとして今回の公式訪問団で9度目の受入れをした鈴木公実子さんに伺いました。これまで、ラピッド市の中高生を6回、公式訪問団で訪れた方を3回受入れています。鈴木さんは、ご主人と娘さんの3人家族です。



後列の右端が鈴木公実子さん

Q ホストファミリーを始めようと思ったきっかけは何ですか？

A 協会会報の募集記事を見て申し込みました。

Q 大人と中高生の受入れて違う点は何ですか？

A 中高生は元気いっぱいなので、こちらもたくさん元気をもらえます。大人と一緒にお酒を飲んで語り合えるところでしょうか。

Q ホストファミリーをして良かったと思ったことは何ですか？

A 東日本大震災が起きた時に、みんなが心配してメールや電話をくれました。「私たちにはたくさんのアメリカ人の家族がいる」と改めて感じました。受入れた後もこのような交流が続いていることが、ホストファミリーをして良かったと感じていることです。

Q これまで受入れをして、思い出に残っていることはなんですか？

A 中高生を6回受入れた中で1回だけ男の子を受入れましたが、その子たちがお礼にと夕食を作ってくれた時はとても感動しました。

Q 思い出に残るエピソードなどはありますか？

A 公式訪問団で初めて受入れた子とはそれ以来ずっとプライベートでも仲良くしています。彼女は日光市を4回訪問していて、プライベートで来た際は2カ月間、家に泊まり、さまざまな所に行ってくさんの時間を彼女と過ごしました。彼女と出会えたことが私にとって一番の宝物です。

イベントレポート



5月14日 平成26年度総会

平成25年度事業及び決算報告、平成26年度事業計画及び予算が承認されました。

総会終了後、「プライダルパレスあさの」にて会員相互の親睦と交流を図るための懇親会を開催しました。



7月12日 フランスダンス団公演

フランスからエヴリンヌ ルマゼイユ ミュージカルダンス団を招き、今市文化会館で公演をしました。このダンス団は、世界的に有名な画家トゥールーズ ロートレックの生まれ故郷でもある南フランスのアルピ市に拠点を置く、質の高いアマチュアの創作ダンス団です。日本とフランスの文化交流の橋渡し役として活躍されている、日光市出身でフランス在住の沼尾祐子様から開催のお話をいただき、実現しました。

演目は「Au Cabaret d' Aristide (アリストイドのキャバレーにて)」で、ロートレックの絵画の世界を華やかに再現した舞台です。ロングスカートやペチコートなど色とりどりの衣装を着たダンサーがダイナミックな踊りを披露し、本場フランスのフレンチカンカンを一目見ようと会場に詰め掛けた大勢の観客を魅了しました。

公演の後、中央公民館で歓迎パーティーを開催し、参加された方はダンス団の皆さんと食事をしながら交流を深めました。



9月27日 国際理解講演会「紅茶を通したスリランカと日本のつながり」

宇都宮大学国際学部附属多文化公共圏センターとの交流事業として、毎年、国際理解講演会を開催しています。

今回は、栗原俊輔先生を講師にお迎えし、スリランカにおける紅茶の生産や日本への紅茶の輸出状況などについてお話しいただきました。

講演中に、この講演会の直前までスリランカに滞在していた先生が現地で調達されたスリランカの紅茶とお菓子をいただきました。参加者は紅茶の飲み比べやお菓子の食べ比べを楽しみながら、スリランカ国内に点在する紅茶プランテーション農園内での人々の生活の様子などに熱心に耳を傾けていました。



11月1日 ハロウィン体験

毎年恒例のハロウィン体験。今年の参加者数は109名と、久しぶりに100名を超えました。会場は仮装した子どもたちでいっぱい！一緒に参加した保護者の方で仮装した方もいらっしゃいました。ハロウィンの歴史を簡単に紹介した後、ドアをノックしてお菓子をもらうトリック・オア・トリートや自慢のコスチュームを披露するコスチュームコンテスト、ピニャータというお菓子の入った紙製のくす玉を棒で叩いて割るゲームなどをして、楽しいひとときを過ごしました。食事の時間では、イベント部会の方お手製のかぼちゃのチーズケーキやアップルトルトをおいしくいただきました。



12月14日

国際交流パーティー

中央公民館で開催し、90名の方が参加しました。

まずは、市内の高校に通うドイツの留学生が、故郷ドイツのクリスマスのお話をしました。その後、お菓子をスプーンに載せて靴下まで運ぶストッキングリレーやアドベントカレンダーの作成、クリスマスのクイズを行いました。

最後にサンタクロースが登場し、プレゼントの交換をしました。サンタクロースからプレゼントをもらおうと、子どもたちは大喜び。一足早いクリスマスを楽しみました。



2月27日

ガーナ共和国大使館を訪ねて



今年は、東京都港区にあるガーナ共和国大使館を訪ねました。ガーナ共和国はアフリカ大陸西部に位置し、カカオ豆の生産のほか、金やボーキサイトなどの鉱物資源に恵まれ、輸出が盛んな国です。

就任して約2ヶ月のシルベスタ・ジュドゥ・パポ・パーカー・アロテ大使からガーナに関する詳しい話をお伺いすることができました。

その後、参加者はガーナの教育制度や女性の社会進出について熱心に質問していました。



日本語教室

3月～6月、9月～12月の第1、2、4木曜日に日光市民活動支援センターにて日本語教室を開催しています。

台湾、ドイツ、デンマーク出身の学習者が毎回10名程度参加し、熱心に学習をしています。レベルに合った内容をマンツーマン、または2～3名のグループで学習しています。日本語を教えるボランティアの方を随時募集しています。資格や経験は必要ありません。学習者の方達と交流しながら日本語を教えてみませんか。

今後の予定

5月16日（土） ■平成27年度総会・懇親会

※会員の方には随時お知らせいたしますので、是非ご参加ください。

協会データ

個人会員	258名
家族会員	24家族
法人会員	61社

外国人登録者数

606名
平成27年3月1日現在

お知らせ

◆会費納入について

まだ会費を納入されていない方は、下記の方法により納入してください。

- ①現金を協会事務局へ持参
- ②当協会預金口座に振込（手数料は各自負担）

※振込先の金融機関については事務局にお問い合わせください。

◆会員募集のお願い

当協会では随時会員を募集しています。国際交流に興味のある方をぜひお誘いください。

●年間会費（4月～3月）● 個人・3,000円 家族・5,000円 法人 10,000円

◆E-mailでの情報提供

経費節減のためE-mailで通知やイベント情報をお送りしています。ご協力いただける方は事務局にご連絡ください。

※データ容量が大きい場合があるため、携帯電話のアドレスはご遠慮ください。

募集



■ホストファミリー

海外からの短期訪問者を家族の一員として受け入れてくださるホストファミリーを募集しています。

■日本語ボランティア

3月～6月、9月～12月の第1 2 4木曜日、日光市民活動支援センターにて在住外国人向けの日本語学習会を行っています。ボランティアで日本語を教えていただける方を募集しています。資格 経験等は必要ありません。一緒に日本語を教えてくださいませんか？ 教室の見学も随時受け付けています。

■国際理解のための学校支援講師

市と協力して子どもたちに国際理解の大切さを学んでもらうため、市内の小中学校に異文化を紹介していただく外国人を派遣しています。

外国籍の方で自国の文化（歴史、料理、音楽、舞踊等）を紹介していただける方を募集しています。お知り合いの外国人の方にもお知らせください。

■翻訳・ボランティア

当協会と市が発行する資料等の各種言語への翻訳や、海外からの訪問者の通訳などにご協力いただける方を募集しています。資格等は必要なく、言語は問いません。ご協力をお願いします。

※興味のある方、登録を希望される方はお気軽に事務局までご連絡ください。

お問い合わせ

日光市国際交流協会事務局（日光市観光部観光交流課内）

〒321-1292 日光市今市本町1番地 TEL 0288-21-5196 FAX 0288-21-5121

E-mail kankou-kouryuu@city.nikko.lg.jp ホームページhttp://www.nikkocity.org